

第139期(第2四半期)

株主通信

2018年4月1日～2018年9月30日



CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 2 業績の概況
- 3 中期経営計画と今後の取り組み
- 5 CSR報告書 特集ダイジェスト
- 7 営業の概況
- 11 第2四半期 連結財務諸表の概要
- 12 業績の推移(連結)
- 13 株主インフォメーション

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。当第2四半期(累計)の事業概況をご報告申し上げます。

当期の印刷業界は、電子書籍やインターネット広告などデジタル市場が拡大する一方で、紙媒体需要の減少に歯止めがかからず、依然として厳しい経営環境が続きました。こうしたなか共同印刷グループは、2018年度を初年度とする中期経営計画を公表し、その実現に向け一丸となって取り組んでまいりました。しかしながら、出版・一般商業印刷での落ち込みや本年4月に竣工した守谷工場の軟包装専用棟の立ち上げに伴う生産効率悪化などの影響により、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高では前年同期を上回ったものの、利益は下回る結果となりました。

国内経済は、米中貿易摩擦による先行きの不透明感はあるものの、世界経済の回復持続に伴う輸出の増加、個人消費や国内設備投資など内需も底堅く推移し、景気は緩やかに回復することが期待されています。印刷業界においては、今後も既存の印刷市場の縮小傾向が続くものと思われませんが、当グループは多様化するニーズを着実に捉えるため、強みである独自の技術やサービスを磨き上げ、総力をあげて業績の向上に努めてまいります。情報系事業では、既存事業の収益基盤強化を進めるとともに、お客さまへの最適なトータルソリューションの提供による新たな需要創出や高いセキュリティ体制を要求される医療分野などでのBPO事業拡大を図ります。生活・産業資材系事業では、軟包装関連における生産体制の早期安定化と収益力向上に努めるほか、国内外におけるチューブ事業の拡大や医薬品包材向けを中心とした高機能製品の拡販、競争力のある新製品開発にも注力するなど、意欲的に事業戦略を展開してまいります。

当グループは、これからも印刷にとどまらない領域へ事業を拡げ、豊かな未来をめざして挑戦し続けます。

株主の皆さまにおかれましては、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長 藤森康彰



業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移するなかで雇用や所得環境が改善し、個人消費も持ち直しの動きをみせるなど、緩やかな回復傾向が続きました。一方、景気の先行きについては、保護貿易主義の拡大による貿易摩擦への懸念や原油価格の上昇など、不透明な状況もあります。印刷業界におきましては、電子書籍市場やインターネット広告市場が拡大する一方で紙媒体の需要減少が顕著になるなど、厳しい経営環境が続いています。

このような状況のなか、共同印刷グループは2018年度を初年度とする3カ年の中期経営方針「強みの育成・拡大と、事業基盤の改革に挑戦し、成長を続ける。」に基づいた取り組みを進めました。

情報系事業では、プロモーション分野での受注拡大をめざし、スマートフォンを活用した販促ソリューションや店頭での販売促進につながる提案活動に注力しました。BPOについては、医療やヘルスケア分野での受注拡大に向けた提案活動を推進しました。またNISSHAグループの情報コミュニケーション事業の一部承継によって出版商印分野の収益基盤強化を図るための取り組みを進めました。生活・産業資材系事業では、軟包装事業の拡大と紙器事業の収益力向上に向け守谷工場の再編を進め、4月に竣工した軟包装専用棟の立ち上げに注力しました。チューブ事業では、化粧品用チューブの受注拡大に取り組んだほか、東南アジアでの事業拡大をめざしてベトナムおよびインドネシアにおける生産体制強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、459億8千9百万円(前年同期比3.9%増)となり、営業利益は9千5百万円(前年同期比53.5%減)、経常利益は5億2千9百万円(前年同期比30.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7千2百万円(前年同期比89.1%減)となりました。

単位:百万円

連結	前第2四半期累計 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	当第2四半期累計 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	増減率
売上高	44,266	45,989	3.9%
営業利益	204	95	△53.5%
経常利益	763	529	△30.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	667	72	△89.1%
1株当たりの中間配当金*	5円	50円	—

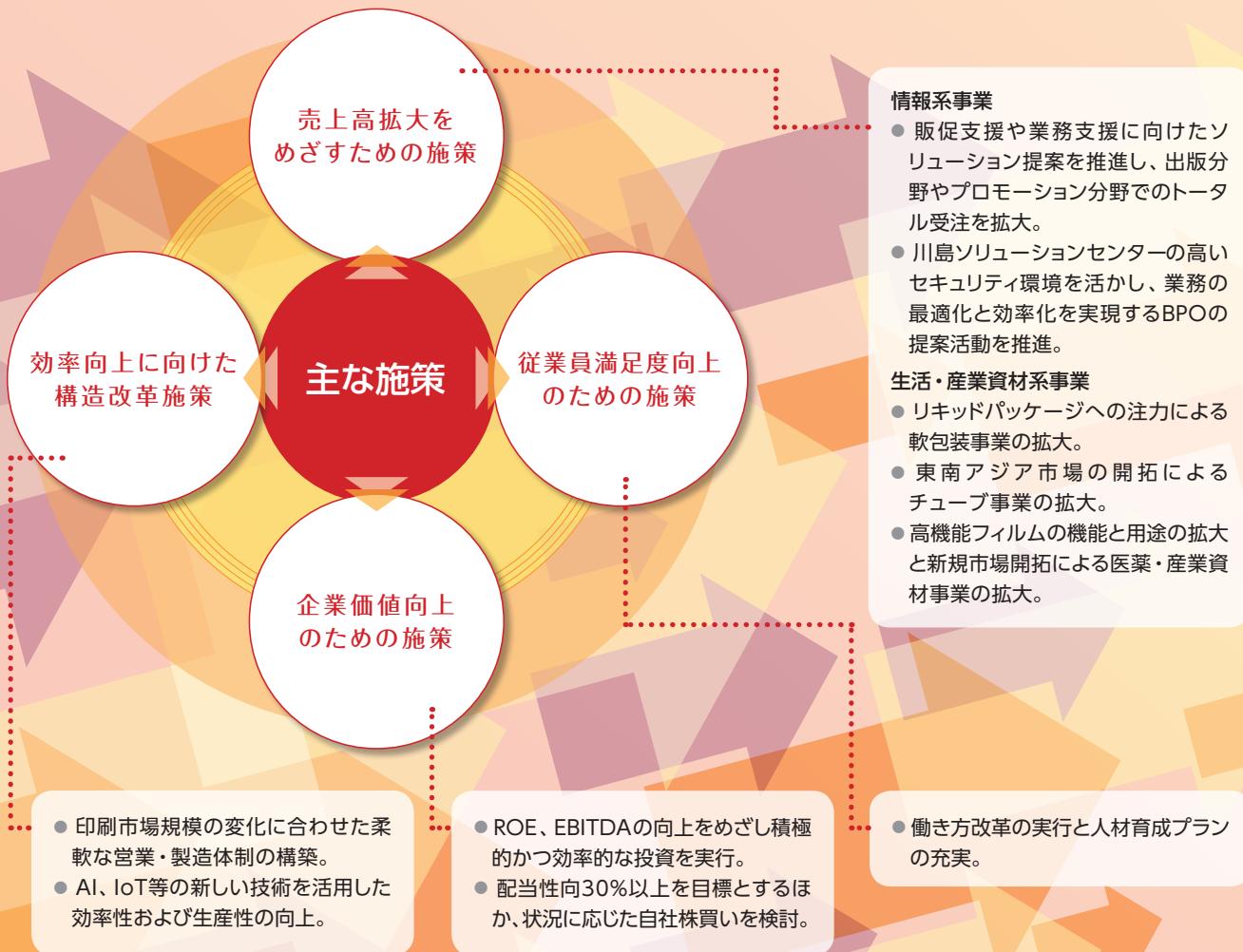
*前第2四半期末配当金(中間配当金)の内訳 普通配当4円 記念配当1円(創業120周年記念)

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行いました。前第2四半期末配当金(中間配当金)については、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しています。

中期経営計画と今後の取り組み

中期経営方針

“強みの育成・拡大と、事業基盤の改革に挑戦し、成長を続ける。”



中期経営計画と業績予想

	2017年通期実績	2018年度通期予想 (修正前)	2018年度通期予想 (修正後)	2020年度通期計画
売上高	950億円	1,000億円	970億円	1,080億円
営業利益	17億円	26億円	15億円	40億円
経常利益	26億円	34億円	23億円	47億円
EBITDA	65億円			100億円

第2四半期までの状況を踏まえ、2018年11月5日付で通期の業績予想を上記のように修正しました。情報系事業において紙媒体の需要減少が想定以上に進み、BPOや生活・産業資材系事業の受注増によっても回復が難しいとの判断から売上高は減収を見込んでいます。利益についても、情報系事業における紙媒体の受注減のほか、生活・産業資材系事業の守谷工場再編に伴う生産効率改善に向けた取り組みが遅れていることから、減益の見通しといたしました。

今後の取り組み

情報系事業

出版印刷では、デジタルソリューションの推進によるデジタルコンテンツの受注拡大と、海外市場への展開も含めた電子書籍事業の拡大を図ってまいります。一般商業印刷では、WebやSNSを活用したプロモーション施策の提案力強化と販促ソリューションの拡販に取り組むとともに、NISSHAグループの情報コミュニケーション事業の一部承継によって紙媒体の受注量拡大をめざします。

ビジネスメディア分野では、BPOの受注拡大に向け、金融機関や官公庁・自治体に対して業務の最適化および効率化実現に向けた細やかな提案活動を推進するとともに、新たな領域として、川島ソリューションセンターの高いセキュリティ体制を活かし医療およびヘルスケア分野への取り組みを進めています。ICカードでは、需要が堅調に推移する一方で多機能化が進んでおり、技術的な対応に努めながら新規市場の開拓に取り組んでまいります。

生活・産業資材系事業

軟包装事業では、国内最新鋭のクリーンな環境を構築した守谷工場の軟包装専用棟の生産体制を活かし、食品分野を中心にリキッドパッケージ(液体用包材)の受注拡大をめざしてまいります。紙器事業では、既存製品の受注拡大に取り組むとともに、中食市場の拡大で需要増となっているテイクアウト用カートンおよびセルフメディケーション施策の推進によって市場が拡大している医薬品用カートンの受注拡大に取り組んでまいります。

チューブ事業では、国内トップシェアの歯磨き用チューブの安定供給に向けた生産体制強化と、ハンドクリームやUV製品を中心とする化粧品用チューブの受注拡大に向けた提案活動に取り組んでまいります。さらにベトナムとインドネシアにおけるチューブ事業拡大をめざし生産体制の拡充を図っていきます。高機能フィルムは、内容物の高度化が進む医薬品向け包材として提案を進めるほか、新規市場の開拓による拡大に努めてまいります。

パートナーと共に、 ASEAN地域の社会と健康に 貢献する



共同印刷グループは、2012年から中国やASEAN諸国に進出し、現地での製造・販売体制の確立を進めています。日本水準の品質・技術を現地に根づかせ、地域社会や人々の豊かさ、健康への貢献をめざしています。

人口約6億を擁するASEAN巨大市場に本格参入

ASEAN諸国は人口、経済ともに成長著しく、購買力をもった中間層・富裕層が拡大しつつある消費市場として注目を集めています。共同印刷グループは、日本国内で30%以上のシェアを持つラミネートチューブのASEAN市場向け生産拠点として、2015年にベトナム工場を稼働させました。独自開発のオーバル形状ラミネートチューブや、業界初のフレキシ印刷を施した高機能かつ高精細なフルプリント®ラミネートチューブなどの高付加価値製品を生産する最新鋭の工場です。



ベトナム工場

上海、ベトナム、インドネシアの アジアネットワークを構築

当グループは、2012年に中国の販売拠点として共印商貿・上海を設立しました。2015年にベトナムへ進出、2017年にはインドネシアのPT Arisu Graphic Primaを子会社化するなど、アジアネットワークの構築を進めてきました。今後も生産能力拡大を計画する一方、調達、販売体制の強化確立にも取り組んでいます。日本国内で品質、技術、シェアのいずれにおいてもトップクラスの実績を持つラミネートチューブをASEAN地域および中国の巨大マーケットに供給する、アジアナンバーワンメーカーをめざしています。

共同印刷のラミネートチューブ技術の特長

- フルプリント®ラミネートチューブ
チューブのシーム部(継ぎ目)にも印刷でき、デザイン性に優れる
- オーバル形状ラミネートチューブ
独自開発の形状で広いフェイスを持ち、アイキャッチ性に優れる
- フレキシ印刷チューブ
グラデーションや写真などの印刷再現性が高まり、デザイン表現の自由度が向上



最高水準の衛生環境下で ASEAN地域に安心・安全で高品質な製品を提供

ベトナム工場は国内と同様の品質管理体制を構築しています。ISO9001に加え、医療品製造ガイドラインであるISO15378の認証を取得するなど、医療用チューブの製造も可能な体制を整えています。

ASEAN諸国には、化粧品などに適した美麗性の高い製造技術や衛生水準を持つ容器供給メーカーがありません。まだ一般的ではない高品質な容器を安定的に供給することで、人々の暮らしの安心や豊かさにも貢献したいと考えています。



高いスキルを根づかせる技能教育を拡充

ベトナム工場では従業員の95%が現地採用です。日本と同等の衛生環境、技術レベルを実現、維持するため、日本から技術指導者を定期的に派遣し、技術だけでなく、「日本的なモノづくりの精神」を伝えています。また、3年間ほど日本に派遣する技能実習制度も導入し、長期的な視点で技術者の充実に取り組んでいます。また、環境保全、安全衛生、清掃なども徹底し、社員満足度向上と地域社会との共生にも努めています。



日本の技術力をアジアで。ASEANの活力を日本に。 お客さまとのパートナーシップで実現

さらなる品質向上のため、お客さまとベトナム、日本合同の品質プロジェクトを発足させています。また、販売や材料の調達においても、日本、ベトナム、インドネシア、タイなど、国を超えて営業戦略部門や調達部門との連携を図っており、日本から輸入している原反についても現地での調達に切り替えを進めています。

こうした、「お客さまとの協働」を大切にしている日本の共同印刷と同じメソッドを導入することで、お客さまとの接点が増え、信頼関係がより強固なものになっています。お客さまと盤石なバリューチェーンを確立し、今後は医薬品市場でも存在感を示していくことをめざしています。



本トピックスの掲載内容をはじめ当グループのCSRの取り組みを記載した「CSR報告書2018」を送付ご希望の方は、以下までご連絡ください。

共同印刷(株)コーポレートコミュニケーション部
Email : koho@kyodoprinting.co.jp
Fax : 03-3817-6702

営業の概況

情報コミュニケーション部門

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子書籍



連結売上高 **174億1百万円**
(前年同期比2.7%減)

営業損失 **6億9千3百万円**
(前年同期は営業損失
5億9千4百万円)

出版印刷では、コミックの電子配信は増加したものの、出版市場の縮小の影響により定期刊行物と書籍がともに減少し、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷では、販促ソリューションやPOPの受注が拡大しパンフレット類も増加しましたが、カタログや情報誌、販促DMなどが減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。

出版印刷においては、引き続きマンガを中心としたコンテンツをデジタル展開するデジタルソリューションを強化するとともに、「ソク読み」を中心とした配信事業を強化し、電子書籍市場での拡大を図ってまいります。

一般商業印刷においては、企業と会員をつなぐパーソナルマーケティングツールや、デジタルサイネージやスマートフォン用アプリを組み合わせる新しい売り場や売り方を提供する販促ソリューションの提案を推進し、受注拡大を図ってまいります。また、メディアフラッグ社

との協力体制構築により、店頭販促分野におけるサービス開発に注力してまいります。



出版印刷



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

TOPICS イーコミックスクリーンプラス 「eComicScreen+™」を新開発

2018年6月、モアレを抑制して高品質なまんが電子書籍画像を生成する「eComicScreen®」の機能を、AI技術の活用により向上させた「eComicScreen+™」を開発しました。

eComicScreen®の開発で得たノウハウを活用するとともに、技術者が長年にわたり培った画像処理技巧をAIに学習、蓄積させることで、スクリーントーンの抽出精度を大幅に向上させました。これにより、スクリーントーンの認識モレやムラが改善し、より自然な仕上がりを実現しました。



【画像処理の比較】

左:従来处理[天地1200px相当]、中:eComicScreen®、右:eComicScreen+™
eComicScreen+™では、細線などがより鮮明に再現可能(囲み部分)

情報セキュリティ部門

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO業務
- 通帳・証券類
- 各種カード



連結売上高 152億5千3百万円
(前年同期比5.5%増)

営業利益 6億5千2百万円
(前年同期比74.2%増)

情報セキュリティ部門では、抽選券や乗車券の減少により証券類が減少しましたが、BPOの受注が拡大したことによりビジネスフォームが増加しました。ICカードについても、IC乗車券の需要が好調に推移したことや金融関連の新規案件を獲得したことにより増加となりました。

以上の結果、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

当部門では、既存得意先である官公庁や自治体、金融関連に加え、新たに教育分野や医療・ヘルスケア分野におけるBPOの受注拡大をめざしています。事務作業の負担軽減や顧客サービスの充実に目的として今後もBPO需要は拡大すると予想されており、BPOの業務設計

力とサービス開発、川島ソリューションセンターの生産体制強化に取り組んでいます。今期はクレジットカード情報保護に向けた業界のセキュリティ基準である「PCI DSS」に準拠した環境を整備し、小売店などに対しクレジットカード情報



ビジネスフォームなど

の非保持化を支援するBPOの提案を推進しました。ICカードおよび証券類については、新製品開発と新規市場の開拓に努めるとともに、省力化設備導入によるコスト削減および設備の再配置による生産効率向上に取り組んでまいります。



通帳・証券類

TOPICS 「健康経営®認定取得サポートサービス」を開始

企業の健全な事業活動の基盤となる産業保健の業務支援サービスや、経済産業省が創設した「健康経営®優良法人認定」の取得支援および健康経営®の推進を幅広く支援するサービスを開始しました。

強固なセキュリティ体制やデータ活用ノウハウを生かし、お客さまからお預かりした健診データや職場アンケートなどの集計結果から企業の健康課題を抽出し、対策案と併せてレポートを作成、健康経営®の推進や認定取得への取り組みに活用してもらうサービスです。施策提供とその効果測定を通して経年的にPDCAを回し、企業の生産性向上、活性化を支援します。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。当社サービスとNPO法人健康経営研究会との係わりはありません。



2018年9月「健康経営®セミナー」を主催し、当社のサービスも紹介しました

生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能製品



連結売上高 123億9千8百万円
(前年同期比12.7%増)

営業利益 8千1百万円
(前年同期比78.6%減)

生活・産業資材部門では、歯磨き用チューブの安定供給と化粧品用チューブの受注拡大をめざし、国内外での生産体制強化に取り組みました。また、食品分野を中心とした軟包装の受注拡大とラップカートンやティシュカートンを中心とした紙器の受注拡大に取り組んだほか、医薬品向けを中心に高機能製品の提案を推進しました。歯磨き用・化粧品用ともにチューブが増加し、カップ麺のフタ材やゼリー飲料向けのTパウチの受注拡大により軟包装も増加しました。紙器ではティシュカートンが増加し、産業資材では医薬品包材が増加しました。

以上の結果、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

当部門では、当社が強みを持つ製品の拡販と市場シェア拡大をめざしています。チューブでは、歯磨き用や化粧品用に加え、新たに食品用チューブの拡販に取り組んでいます。また東南アジア市場での受注拡大をめざし、生産体制強化を図ってまいります。軟包装については、4月に竣工した守谷工場の軟包装専用棟の立ち上げに全力で取り組み、生産力拡大と収益力強化をめざします。国内最新鋭のクリーンな生産環境を構築し、守谷第二工場で生産する高機能フィルムとあわせ安心・安全な包

装材料を提供する体制づくりを推進してまいります。



紙器・軟包装・チューブ・金属印刷など

TOPICS 軟包装の専用工場完成、生産力を強化し事業を拡大

2018年4月、守谷第一工場(茨城県守谷市)の、軟包装専用棟(以下、新棟)が竣工しました。

新棟では、お客さまに安心・安全な包装材料をお届けするため、食品安全マネジメントシステムの一つであるFSSC22000の認証取得を視野に入れた国内最新鋭の生産環境を構築しました。また、作業動線を効率化し、省エネにも配慮した“エコファクトリー”です。食品から化学用品や工業用品まで入れられる中容量フレキシブルコンテナー「ハンディキューブ®」をはじめとする製品を柱に、軟包装事業の拡大を進めます。



その他

- 不動産管理
- 物流業務



連結売上高 9億3千6百万円
(前年同期比2.5%増)

営業利益 8千万円
(前年同期比39.8%減)

連結子会社における売上高は、物流業務等の拡大により前年同期を上回りました。



共同物流株式会社

TOPICS 当社が制作に携わった製品が、各コンクールで受賞

造本装幀に携わる人々の成果を総合的に評価

第52回 造本装幀コンクール

- 日本書籍出版協会理事長賞 文学・文芸(エッセイ)部門
株式会社マッグガーデン
『豪華版 小説 魔法使いの嫁 金糸篇』
- 日本印刷産業連合会会長賞
株式会社小学館
『小学館の図鑑NEO まどあけずかん たべもの 英語つき』
- 出版文化産業振興財団賞
株式会社講談社
『点字つきさわる絵本 あらしのよるに』



コマーシャル・パッケージの優秀性を競うコンテスト 第57回 ジャパン パッケージングコンペティション

- 一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞
まるか食品株式会社
「ペヤングMAX」



「働き方改革宣言」を策定

2018年7月、「働き方改革宣言」を策定・公表しました。社員が生き生きと働ける環境づくりを推進し、企業価値の向上と持続的成長をめざします。

共同印刷グループ 働き方改革宣言

2018年7月24日

共同印刷グループは、社員一人ひとりが働きやすさと働きがいを実感できる働き方を実現し、グループ全体の成長の糧とするために以下のテーマについて一丸となって取り組みます。

1. 多様な働き方(ダイバーシティ)の推進と長時間労働の削減による社員のワークライフバランスの実現
2. 社員の健康増進の支援
3. 社員がやりがいを持って活躍し成長できる機会と環境の提供

TOMOWELの理念のもと、すべての社員の生き生きとした働きを通じて、誠実なコミュニケーションと市場をリードする技術力でお客さまの思いをカタチにし、新たな価値を創出しつづける企業グループをめざします。

共同印刷株式会社
代表取締役社長 藤森康彰

第2四半期 連結財務諸表の概要

前期末……………2018年3月31日
 当第2四半期末…2018年9月30日
 前第2四半期…2017年4月1日から2017年9月30日まで
 当第2四半期…2018年4月1日から2018年9月30日まで

単位:百万円 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

●連結貸借対照表

	前期末	当第2四半期末
資産の部		
流動資産	49,917	45,525
固定資産	70,627	76,939
有形固定資産	46,689	50,946
無形固定資産	1,988	1,770
投資その他の資産	21,948	24,222
資産合計	120,544	122,464
負債の部		
流動負債	29,470	29,958
固定負債	26,856	27,426
負債合計	56,327	57,384
純資産の部		
株主資本	54,295	53,928
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,728	1,764
利益剰余金	48,607	48,242
自己株式	△ 549	△ 588
その他の包括利益累計額	9,847	11,091
その他有価証券評価差額金	9,679	11,144
為替換算調整勘定	76	△ 144
退職給付に係る調整累計額	92	91
非支配株主持分	73	59
純資産合計	64,217	65,079
負債純資産合計	120,544	122,464

●連結包括利益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
四半期純利益	650	59
その他の包括利益	△ 1,046	1,242
その他有価証券評価差額金	△ 983	1,464
為替換算調整勘定	△ 64	△ 221
退職給付に係る調整額	6	△ 0
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 4	0
四半期包括利益	△ 395	1,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 379	1,316
非支配株主に係る四半期包括利益	△ 16	△ 14

●連結損益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	44,266	45,989
売上原価	36,827	38,357
売上総利益	7,438	7,631
販売費及び一般管理費	7,233	7,536
営業利益	204	95
営業外収益	729	629
営業外費用	170	195
経常利益	763	529
特別利益	4,181	127
特別損失	3,803	341
税金等調整前四半期純利益	1,141	314
法人税等	491	255
四半期純利益	650	59
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△ 16	△ 13
親会社株主に帰属する 四半期純利益	667	72

●連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期	当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	817	196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,467	△ 4,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,190	△ 632
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	△ 70
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,843	△ 4,745
現金及び現金同等物の期首残高	17,414	14,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,571	9,860

業績の推移(連結)

売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(百万円)



株主インフォメーション

●会社情報

商号 共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業 1897(明治30)年 6月25日
設立 1925(大正14)年12月26日
資本金 45億1千万円
本社 〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12
Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)

●製造工場およびグループ会社

情報コミュニケーション部門

小石川工場
五霞工場
越谷工場
苫小牧工場(株式会社コスモグラフィック)
共同印刷製本株式会社
デジタルカタパルト株式会社

情報セキュリティ部門

鶴ヶ島工場
川島ソリューションセンター
京都工場(共同印刷西日本株式会社)
共同印刷西日本株式会社
共同エフテック株式会社

生活・産業資材部門

守谷第一工場/守谷第二工場
小田原工場
相模原工場
和歌山工場
磯原工場(常磐共同印刷株式会社)
共同NPIパッケージ株式会社
共印商貿(上海)有限公司
KYODO PRINTING (VIETNAM) CO.LTD.
PT Arisu Graphic Prima

その他

共同物流株式会社
共同総業株式会社
共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社
(関連会社)
共同製本株式会社
株式会社バイオネット研究所

●役員

取締役

代表取締役社長	藤森 康彰
取締役	清水 市司
専務執行役員	大澤 春雄
取締役	渡邊 秀典
常務執行役員	里村 憲治
取締役	松崎 広孝
常務執行役員	高岡 美佳
社外取締役	内藤 常男

監査役

常勤監査役	小笠原 誠
常勤監査役	塩澤 幹彦
社外監査役	公文 敬
社外監査役	徳岡 卓樹

執行役員 (取締役兼務者を除く)

上席執行役員	英 紀一
上席執行役員	石井 啓太
上席執行役員	前川 俊夫
上席執行役員	富井 徹也
上席執行役員	仲田 宏治
執行役員	高橋 孝治
執行役員	富岡 忠司
執行役員	秋元 秀夫
執行役員	岩田 淳一
執行役員	海江田卓郎
執行役員	土井 晴之
執行役員	大橋 輝臣
執行役員	沢崎 久賢

●株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日(株主確定日)	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	0120-782-031(平日9:00~17:00)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店
証券コード	7914
電子公告掲載	共同印刷株式会社ウェブサイト http://www.kyodoprinting.co.jp/

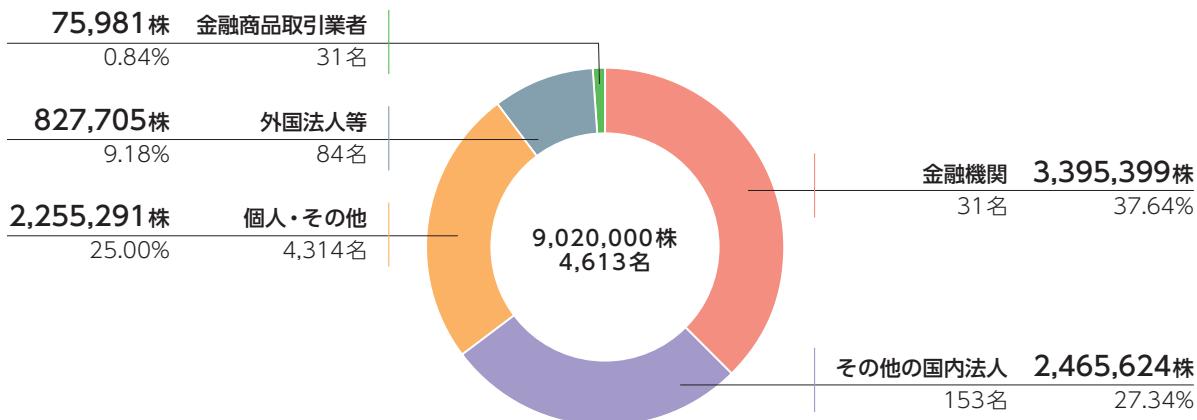
■住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に
口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別
措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う
際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金
領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金
のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定
申告をされる株主さまは大切に保管ください。

●株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行済株式総数	9,020,000株(うち自己株式180,916株)
株主数	4,613名
株主構成(株式数比率)	



共同印刷のオリジナル技術「彩美版®」

フェルメール『牛乳を注ぐ女』を株主さまだけに特別価格でご案内します

「光の画家」と呼ばれるフェルメールは寡作で知られ、真作とされる作品は40点にも及びません。また、大半が、庶民、市民の日常生活を描いた風俗画である点も特徴です。ご案内の『牛乳を注ぐ女』は、そうした作品の一つです。描かれているのは、厨房の一角で息をひそめ、一心に牛乳を注ぐ女性。テーブルに置かれた“命の糧”のシンボルともいえるパンの固い質感や、小さく割れた窓から届く北の国オランダの光など、描かれた一つひとつが、そこから物語を想像することを求めているかのように優しく語り掛けてきます。17世紀オランダの精神文化や時代背景までもが感じられる貴重な作品です。

フェルメールは多くの作品で、独特の深く鮮やかな青を使用しました。高価なラピスラズリを原料にした絵の具「ウルトラマリンブルー」を用いたもので、“フェルメール・ブルー”と呼ばれます。本作では、天然ラピスラズリを一部使用するとともに、当社独自の技法「彩美版®」で、フェルメール絵画の質感や濃淡の深みを再現しました。静謐感にあふれた珠玉の名画を、ぜひお手元でお楽しみください。

彩美版® ヨハネス・フェルメール『牛乳を注ぐ女 THE MILKMAID』 受付期間:2018年12月6日から2019年2月28日まで

【仕様・体裁】

原画所蔵	アムステルダム国立美術館
監修	千足伸行(美術史家/成城大学名誉教授・広島県立美術館館長)
技法	彩美版®シルクスクリーン手刷り、天然ラピスラズリ使用
用紙	キャンバス
額縁	特注木製額金箔貼りハンドメイド仕上げ、アクリル付き(日本製)
画寸	天地41.0×左右36.6cm(6号大)
額寸	天地53.1×左右48.7×厚さ2.0cm
重量	約2.0kg



© Rijksmuseum, Amsterdam / PPS

美術をもっと楽しむためのウェブマガジン

「美術趣味」
のご案内
美術
趣味 BIJUTSU
SHUMI

<http://bijutsu-shumi.com/>

こちらのサイトでは、左記の商品のほかにも多数の商品をご紹介します。是非ご覧ください。

特別価格 74,000円(税込)

希望小売価格 105,840円(税込)

※特別価格は希望小売価格に対する割引後の価格です。

※返品は、商品到着後8日以内、返品送料はご注文者さまご負担をお願いします。

※「彩美版®」は共同印刷株式会社登録商標です。

< 切りとり線 >

高級美術複製画 注文書

共同印刷株式会社 行

下記のとおり注文します。

商品名 彩美版® フェルメール『牛乳を注ぐ女』	金額 74,000円(税込)
ふりがな	
お名前(会社名)	印
TEL	FAX
※お振込名義がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。 ()	
納品先ご住所 〒	
TEL	
※お届け先名がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。 お名前(会社名)	

ハ
切
り
と
り
線
V

ご注文方法

左の注文書にご記入の上、FAX送信、または下記住所あてにご郵送ください。

共同印刷株式会社

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

FAX 03-3817-6702 24時間受付

お支払方法(代金前払い/口座振込のみ)

お申し込み受け付け完了後、当社よりお支払方法をご連絡します。商品はお入金を確認次第発送します。

※ 振込手数料はご注文者さまでご負担ください。送料・梱包料は、当社にて負担します。(海外発送は別途相談)

本件についてのお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

TEL 03-3817-2071

Email koho@kyodoprinting.co.jp

